科目名	日本赤十字社救急法Ａ							年度	2025
英語科目名	Japan Red Cross First Aid A							学期	通年
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース　1年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	日本赤十字社救急法救急指導員	教員の実務経験		有	実務経験の職種	救急法救急指導員□			

【科目の目的】

資格の意義を理解し、事故の防止に努めるとともに、怪我人や急病人に対して救急法を実践する知識と技術の習得を目的とします。また怪我人や急病人に対してだけでなく、病気や事故、災害などから自分自身を守り二次事故（災害）を起こさぬ行動ができる人材を育成します。そして日常生活において、心停止の予防はもちろん、事故や災害時に状況を迅速に判断し、スムーズな救命が行える知識と技術の獲得が目的です。

【科目の概要】

日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。

【到達目標】

日本赤十字社救急法救急員の資格取得をめざします。一次救命処置から始まり、きず・骨折の手当など、日常生活で起こりうる事故や災害時の正しい対処や処置の方法を習得します。また自分自身においても二次事故（災害）の被害にあわないよう状況判断や、的確な指示をするための知識や技術の獲得をめざします。
A.試験に合格できる理論を身につけている
B.試験に合格できる基礎技術を身につけている
C.基礎理論・基礎技術を実生活で応用することができる

【授業の注意点】

授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにします。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	理論を十分に理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、概ね覚え、試験合格
到達目標 B	基礎技術がしっかり身に付き、試験に合格		基礎技術が概ね身に付き、試験に合格		基礎技術が分かり、試験に合格
到達目標 C	実際に活用する事を想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる		実際に活用する事を少しは想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる		実際に活用する事を少しは想定でき、セミナー内容を実施できる

【教科書】

赤十字救急法講習教本、赤十字救急法基礎講習教本

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	日本赤十字社救急法Ａ	年度	2025
英語表記	Japan Red Cross First Aid A	学期	通年

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	赤十字救急法について	1	赤十字救急法とは	赤十字救急法について理解している	3	
			2	心得	救急法を実践する際の心得を理解している		
			3	救命の連鎖	救命の連鎖について理解している		
2	基礎講習①	手当の基本	1	観察・体位	観察と体位の基本について理解している	1	
			2	傷病者	傷病者への接し方について理解している		
			3	留意点	現場での留意点について理解している		
3	基礎講習②	一次救命処置	1	心肺蘇生（CPR）	CPRについて理解している	1	
			2	AED	AEDについて理解している		
			3	気道異物除去	気道異物除去について理解している		
4	講習①	赤十字救急法救急員について	1	救急法救急員	救急法救急員について理解している	2	
			2	能力	救急法救急員に求められる能力について理解している		
			3	救助	救助について理解している		
5	講習②	急病①	1	心臓発作、脳卒中	心臓発作や脳卒中について理解している	2	
			2	呼吸困難、腹痛	呼吸困難や腹痛について理解している		
			3	痙攣、熱中症	痙攣や熱中症について理解している		
6	講習③	急病②	1	発熱、蕁麻疹	発熱や蕁麻疹について理解している	2	
			2	脳虚血、たちくらみ	脳虚血やたちくらみについて理解している		
			3	中毒	中毒の種類について理解している		
7	講習④	けが	1	応急手当	けがに対する応急手当の必要性を理解している	2	
			2	きず、骨折	きずや骨折について理解している		
			3	けが、特殊なけが	けがについて理解している		
8	技術①	きずの手当	1	止血	止血の方法について理解している	2	
			2	包帯	包帯法について理解している		
9	技術②	骨折の手当①	1	固定	固定の方法について理解している	2	
			2	手首や前腕	手首や前腕の手当について理解している		
			3	上腕骨	上腕骨の手当について理解している		
10	技術③	骨折の手当②	1	肘関節周辺	肘関節周辺について理解している	2	
			2	下腿	下腿について理解している		
			3	大腿骨	大腿骨について理解している		
11	技術④	骨折の手当③	1	膝	膝について理解している	2	
			2	鎖骨	鎖骨について理解している		
			3	足（足首）	足（足首）について理解している		
12	技術⑤	骨折の手当④	1	肋骨	肋骨について理解している	2	
			2	骨盤	骨盤について理解している		
			3	脊椎損傷	脊椎損傷について理解している		
13	技術⑥	骨折の手当⑤	1	脱臼、捻挫	脱臼、捻挫の手当について理解している	2	
			2	打撲、肉離れ	打撲、肉離れの手当について理解している		
			3	アキレス腱断裂、突き指	アキレス腱断裂、突き指の手当について理解している		
14	技術⑦	搬送	1	必要性	搬送の必要性について理解している	2	
			2	方法	搬送の方法について理解している		
			3	特殊な状況	特殊な状況での傷病者の移動方法について理解している		
15	講習⑤	救護	1	災害時の心得	災害時の心得について理解している	2	
			2	留意事項	災害時に対しての留意事項を理解している		
			3	大地震、水害	大地震や水害の際の心得について理解している		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等